第5章から49章までは種の記載が書かれていて，本書の最も重要な部分である．種の検索は各科の最初に示され，検索に必要な全体図や分類形質となる各部位の図が示され，科の検索と同様に活用しやすい．オーストラリア産のサメ，エイ，ギンザメ類を調べるためにはこの検索だけでも十分のように思える．各種の記載は第2章の種の記載について示されている項目について，各項目ごとに簡潔に書かれていて分かりやすい．各種の分類のための特徴，大きさ，分布，若干の生物学的知見などを知る上で簡単に利用できる．これは本書のねらいでのべられているように，この図鑑が魚類学者，漁業者，ダイバー，一般人と幅広い読者を対象としていること，フィールドで簡単に利用することができることを目的としていることから，記載等がとても分かりやすく作られているものと思う．分布図は分布場所を青色で示しているので各種の分布が明瞭に分かる．本文にも書かれているようにこれらの分布は文献上のものも含めていることから，分布図の多くが Compagno (1984, FAO species catalogue, vol. 4. Sharks of the world. An annotated and illustrated catalogue of shark species known to date. Part 1: 1–250, Part 2: 251–655) と似ているが，見やすさは本書の方が数段に上をいく．

このように本書はとても利用しやすく作られているがやや不満な点もある．それは未同定種が97種と非常に多いことである．未同定種が最も多い属はガンギエイ属 *Raja* の16種，5種以上いる属はガンギエイ属を除いて7属 (*Etmopterus*, *Squalus*, *Apristurus*, *Asymbolus*, *Cephaloscyllium*, *Pavoraja*, *Chimaera*) もある．たしかにこれらの属の分類については今までのところ混乱が多いのが事実である．したがって，未同定種として扱わなければならないということも十分に理解できる．97種の未同定種が新種であるか，あるいはこれまでに報告されたものに該当する種ではないことが，本書の緒言の部分でのべられている．これら種については今後他の科学雑誌に報告することが明記されているが，97種の報告は今後の大きな仕事のひとつとなろう．私が経験したオーストラリアからニュージーランド周辺海域での調査では，深海性軟骨魚類を中心に北太平洋に生息している種や南アフリカ近海から報告された種と思われるものが採集されたが，本書の記載と図版を見る限りでも未同定種の内のいくつかで同様のことが推定できる．したがって，他の海域で報告された既存種がこれら未同定種の中に含まれている可能性がある．もし未同定種がオーストラリア周辺からの初記録種であるならば，今後の研究報告までそれらを先送りするのではなく，本書の中で種名の決定を行っても良かったのではないかと思う．ただしそのような場合には，使用した標本の番号，保管場所等の情報を明記する必要がある．今後の研究の継続性を考えた場合には，未同定種の有無に関わらず標本番号等を明記する方が，図鑑などでも利用価値がさらに高いものとなるのではないかと思う．このような図鑑での未同定種の扱いは利用者にとってはやっかいな場合がある．早いうちに種の決定をしてもらいたいものである．

本書は未同定種を多く含んでいるものの，これまでにのべたように良くまとまった分かりやすい図鑑であり，利用価値が大変に高いものである．専門家はもとより，サメ，エイ，ギンザメ類に興味をもち始めた読者にとってはとてもありがたい代物である．

(矢野和成　Kazunari Yano: 〒750 下関市東大和町
2-5-20　水産庁西海区水産研究所資源管理部)

図書紹介・New Publications

魚類学雑誌
41(3): 348-350, 1994

□魚類相

Reef Sharks and Rays of the World.—Scott W. Michael. 1993. Sea Challengers, Monterey, California, USA. vi+107 pp. ISBN 0-930118-18-9. ¥4,490. サンゴ礁に出現する166種のサメ・エイ類の形態，分布，繁殖生態などをまとめた本．科の検索には線画を用い，各種の説明にはカラー写真を用いている．(KM)

Indian Ocean—Tropical Fish Guide.—Helmut Debelius. 1993. Aquaprint, Neulsenberg, Germany. 321 pp. ISBN 3-927991-01-5. ¥7,550. 著者はインド洋に生息する生物の水中写真家として知られている．本書はインド洋の熱帯域に分布する魚類を多数の水中写真で紹介している．シーラカンスやメガマウスの水中写真も含まれ

ている．また，カジキ類など，魚種としては珍しくなくても，水中写真ではめったに見ることができない魚もかなり含まれている．(KM)

□魚類分類学・進化学

FAO Species Identification Sheets for Fishery Purposes. Field Guide to the Commercial Marine Resources of the Gulf of Guinea.—Wolfgang Schneider. 1990. FAO, Rome. xii＋268 pp., 16 pls. FAO の Species Identification Sheets の Guinea 版である．他の海域の Identification Sheets よりもさらに漁業者向けにできていて，魚種名を決めるための必要最小限度の情報のみを示している．各種に与えられた項目は，注釈付きの線画，種の FAO 名，シノニム，漁獲に必要な漁具，生息場所，簡単な備考のみである．魚類以外の無脊椎動物も扱っているが，その数は多くない．巻末に魚類のカラー図版がある．(KM)

Catalog of Freshwater and Marine Fishes of Alabama.—Herbert T. Boschung. 1992. The University of Alabama, Tuscaloosa, Alabama, USA. xv＋266 pp. ISSN 0196-1039. ¥6,800. 本書は Bulletin of Alabama Museum of Natural History の 14 号に収録されている．米国アラバマ州に出現する魚類の種名，シノニム，分布および分類学的な問題点を扱っている．(KM)

FAO Species Catalogue. Vol. 15. Snake Mackerels and Cutlassfishes of the World (Families Gempylidae and Trichiuridae). An Annotated and Illustrated Catalogue of the Snake Mackerels, Snoeks, Escolars, Gemfishes, Sackfishes, Domine, Oilfish, Cutlassfishes, Scabbardfishes, Hairtails, and Frostfishes Known to Date.—Izumi Nakamura and Nikolay V. Parin. FAO Fisheries Synopsis. No. 125, Vol. 15. vii＋136 pp. ¥3,640. 本書にはクロシビカマス科の 16 属 23 種，タチウオ科の 9 属 32 種が収録されている．形式はこれまでのものと同様．(KM)

□分類学・進化学一般

ダーウィン進化論の現在.—E. マイアー．1994．養老孟司（訳）．岩波書店，東京．xii＋242＋11 pp. ISBN 4-00-005640-9. ¥2,500（税込）．原著は "One Long Argument. Charles Darwin and the Genesis of Modern Evolutionary Thought" (Mayr, 1991)．ひょっとしたらマイアーの単行本が訳されたのはこれが初めてではなかろうか．もっと彼の著作が翻訳されていれば，日本の進化学の発展の仕方もちがうものになっていただろうと思う．内容は原著の副題のとおり．巻末の訳者あとがきもおもしろい．(MM)

□魚類生態学・行動学

Feeding Ecology of Fish.—Shelby D. Gerking. 1994. Academic Press, San Diego, USA. xxvi＋416 pp. ISBN 0-12-280780-4. ¥13,290（税込）．さまざまな魚類の摂食生態を幅広く扱う．摂食生態の理論（戦略論，機能形態論，ギルドなど：Part I），各摂食様式についての詳説（Part II～V），一般生態学的な話題（個分割，捕食圧とニッチの変化，個消費のモデル，栄養段階，将来展望など：Part VI）．(TK)

さかなの街.—ジャック T. モイヤー・中村宏治．1994．東海大学出版会，東京．268 pp. ISBN 4-486-01296-8. ¥4,944（税込）．本書の原題は Discoveries of an Underwater Naturalist．レンテンヤッコやニシキベラ，クマノミなどの話題を読み進むうちに，モイヤーさんがどのようにして魚類の繁殖行動に興味をもつようになり，どのようにして研究をすすめ，何を目標にしていたかがよくわかる．水中写真家の中村氏による美しく，学術的にも価値の高い写真が多数収録され，楽しみながら魚類の繁殖行動について学べる良書．(KM)

日本産魚類生態大図鑑.—益田　一・小林安雄．1994．東海大学出版会，東京．47＋465 pp. ISBN 4-486-01300-X. ¥9,785（税込）．日本産魚類 1916 種が 3084 点の写真で示されている．これだけの生態写真を集めた著者のエネルギーに圧倒される．各種の説明は 2～3 行で，水深，生息場所，種の特徴が述べられている．海外で撮影された写真も含まれているが，説明に明記されている．本書で初めて紹介された魚の数がかなりある．日本の魚を研究するものにとって必携の本となるであろう．ただし，分類学的な問題を含む魚種も多く，そのような種類の研究は焦眉の急である．(KM)

□生態学・行動学一般

Sexual Selection.—Malte Andersson. 1994. Princeton University Press, Princeton, USA. xx＋599 pp. ISBN 0-691-03344-7 (cloth), 0-691-00057-3 (paper). ¥14,200 (cloth), ¥5,450 (paper)．性淘汰（性差の進化）に関する最新の総合的テキスト．性淘汰のモデルとその実証例，配偶システムとの関連，配偶者選択，種分化，さ

まざまな動物群および植物における性差の実態，代替戦術，今後の課題など． (TK)

□その他

リンネと博物学．—大場達之・斉藤明子（編）．1994．千葉県立中央博物館，千葉．222 pp. ¥2,000（税込）．現在千葉中央博で行われている特別展，「リンネと博物学—自然誌科学の源流」の図録．最高のナチュラリスト，リンネ（木村陽二郎），分類学の黎明期における生物分類と種概念（直海俊一郎）ほか，関係論文・エッセーが15篇掲載されている．「自然の体系」（初版）の訳など，魚類学者にとっても貴重な情報も数多く含まれている．進化学関係者からはすでに高い評価を受けている．博物館のミュージアムショップを通じて入手可能． (MM)

バイカル湖—古代湖のフィールドサイエンス．—森野浩・宮崎信之（編）．1994．東京大学出版会，東京．viii＋267 pp. ISBN4-13-066153-1. ¥3,502（税込）．世界で最も古く，最大の深度を誇り，「生きた進化の博物館」とも称されるバイカル湖を舞台にしたナチュラルヒストリーの本．1991年以降の国際共同研究の経緯と，地質，古環境，系統進化，生態系と物質循環・汚染など，幅広い研究成果と今後の課題をまとめている．このうち，水生動物の種多様性と生態，進化を扱った章（第4章）では，莫大な種数のプランクトン類の分布と群集動態，300種にも及ぶヨコエビ類の分類と由来，29種のカジカ類の生態と系統進化，および淡水に生息する唯一の鰓脚類バイカルアザラシの形態・生態と現生種との類縁関係など，私たちにも直接関心のある話題が掲載されている． (AG)

会員通信・News & Comments

魚類学雑誌
41(3): 350, 1994

New Catalog Numbers for the Type Specimens of *Dinematichthys randalli* and *D. megasoma*

New catalog numbers for the type specimens of the two bythitid species, *Dinematichthys randalli* and *D. megasoma* described by Machida (1994), are redesignated as follows. Institutional abbreviations follow Leviton et al. (1985).

	Cat. No. in the original description	New Cat. No.
Holotype of *D. randalli*	BPBM 28305-1	BPBM 28305
Paratype of *D. randalli*	BPBM 28305-2	BPBM 35788
Holotype of *D. megasoma*	NTM S. 11253-019-1	NTM S. 11253-019
Paratypes of *D. megasoma*	NTM S. 11253-019-2	NTM S. 11253-020
Paratype of *D. megasoma*	NTM S. 10417-023-1	NTM S. 10417-023

Exact locations which were not shown in the original description of *D. megasoma* are: Table Head, Cobowg Peninsula, Northern Territory—11°14.6′S, 132°10.7′E, and Dudley Point Reef, Darwin, Nothern Territory—12° 25.2′S, 130°49.0′E (R. Williams, pers. comm.).

I thank J. E. Randall (BPBM) and R. Williams (NTM) for their information.

Literature Cited

Leviton, A. E., R. H. Gibbs, Jr., E. Heal and C. E. Dawson. 1985. Standards in herpetolgy and ichthyology: Part 1. Standard symbolic codes for institutional resource collections in herpetology and ichthyology. Copeia, 1985: 802–832.

Machida, Y. 1994. Descriptions of three new and one resurrected species of the bythitid genus *Dinematichthys* (Ophidiidae). Japan. J. Ichthyol., 40: 451–464.

（町田吉彦　Yoshihiko Machida：〒780 高知市曙町 2-5-1　高知大学理学部生物学教室）